

10月3日記

民主党政権になって初のG1は、（2）（5）（6）（8）がキ一数字

スプリンターズステークスというと、12月の中山が頭にすぐ浮かぶのは、年のせいだろう。かつて、スプリンターズステークスは、冬のスプリンターNo.1決定戦として有馬記念年の前に行われていた。しかし、開催プログラム改定により、2000年から、秋のG1の第1弾として、9月末から10月初めの時期に移った。

そのせいだろうか、G1の華やかさが感じられない。夏競馬で行われてきたスプリントレースの最終戦、それがG1というだけのように思えて、私の気持ちは盛り上がらない。

とはいえ、今年は例年と違うことが1つだけある。それは、政権交代後の初のG1ということだ。民主党政権になって初のG1。こうなると、買い目は、それにちなんだものにすべきだろう。

では、民主党政権という最大のファクターからなにを引き出すか？ いろいろ思い浮かぶが、やはり、現在、マニフェストが実行されるかどうかが焦点になっているので、そこにスポットを当ててみたい。

「CO2輩出量を1990年比で25%削減」という大風呂敷。思えば、これが民主党最大のハードルだ。とすれば、

（2）

と

（5）

はハズせない。

次に、「子ども手当一人当たり月額2万6000円」という公約。
ここからは、当然、

(2)

と

(6)

があぶり出される。

さらに「八ツ場ダム建設中止問題」も、民主党が抱えた大きな課題だ。とすれば、八ツ場の

(8)

も重要な意味を持つ。

というわけで、結論は(2) (5) (6) (8)のキー数字の組み合わせを、馬連と枠連の両方で買う。じつに、簡単。こんな簡単でわかりやすい買い方は、近年ないことだ。

では、いちおう馬名を書いておこう。

2番	アルティマトゥーレ	牝5	55.0kg	松岡正海	奥平雅士
5番	マルカフェニックス	牡5	57.0kg	福永祐一	松永昌博
6番	グランプリエンゼル	牝3	53.0kg	熊沢重文	矢作芳人
8番	アイルラヴァゲイン	牡7	57.0kg	津村明秀	手塚貴久

枠番も書いておく。

2-3番	トレノジュビリー	牡6	57.0kg	岩田康誠	藤原英昭
2-4番	キンシャサノキセキ	牡6	57.0kg	三浦皇成	

堀宣行

5ー9 番	ビービーガルダン	牡5	57.0kg	安藤勝己	領家政蔵
5ー10 番	ソルジャーズソング	牡7	57.0kg	内田博幸	鮫島一步
6ー11 番	プレミアムボックス	牡6	57.0kg	鮫島良太	上原博之
6ー12 番	カノヤザクラ	牝5	55.0kg	小牧太	橋口弘次郎
8ー15 番	アーバニティ	牡5	57.0kg	横山典弘	古賀慎明
8ー16 番	アポロドルチェ	牡4	57.0kg	勝浦正樹	堀井雅広